



Cisco Business Dashboard インストールガイド（Amazon Web Services（AWS）用）

初版：2020年11月9日

シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター
0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS含む）

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED "AS IS" WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NON-INFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Any Internet Protocol (IP) addresses and phone numbers used in this document are not intended to be actual addresses and phone numbers. Any examples, command display output, network topology diagrams, and other figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses or phone numbers in illustrative content is unintentional and coincidental.

All printed copies and duplicate soft copies of this document are considered uncontrolled. See the current online version for the latest version.

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses and phone numbers are listed on the Cisco website at www.cisco.com/go/offices.

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <https://www.cisco.com/c/en/us/about/legal/trademarks.html>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2020 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。



The Java logo is a trademark or registered trademark of Sun Microsystems, Inc. in the U.S. or other countries.

© 2020 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



目次

第 1 章

Cisco Business Dashboard kOverview 1

Cisco Businessダッシュボードについて 1

対象読者 2

関連資料 2

用語 3

Cisco Business Dashboard のシステム要件 4

第 2 章

Cisco Business Dashboard のインストール 7

AWS への Cisco Business Dashboard のインストール 7



第 1 章

Cisco Business Dashboard kOverview

この章は、次の項で構成されています。

- [Cisco Businessダッシュボードについて](#) (1 ページ)
- [対象読者](#) (2 ページ)
- [関連資料](#) (2 ページ)
- [用語](#) (3 ページ)
- [Cisco Business Dashboard のシステム要件](#) (4 ページ)

Cisco Businessダッシュボードについて

Cisco BusinessダッシュボードにはCisco Business ネットワークを監視および管理するのに役立つツールが用意されています。Cisco Businessダッシュボードはネットワークを自動的に検出し、シスコのスイッチ、ルータ、ワイヤレスアクセスポイントなど、サポートされているすべてのCisco Business デバイスを設定および監視できます。また、ファームウェアアップデートのリリースや、保証対象外またはサポート契約での対象外となったデバイスについても知らせます。

Cisco Businessダッシュボードは、2つの独立したコンポーネントまたはアプリケーションで構成される分散型アプリケーションです。*Dashboard* とも呼ばれる主要なCisco Business Dashboard アプリケーションと、*Probe* とも呼ばれるCisco Businessダッシュボード Probe の1つまたは複数のインスタンスで構成されます。

Cisco Businessダッシュボードのシングルインスタンスがネットワーク内の使いやすい場所にインストールされます。*Dashboard* のユーザインターフェイスから、ネットワーク内のすべてのサイトのステータスを大まかに把握したり、単一のサイトまたはデバイスに集中して、そのサイトまたはデバイスに固有の情報を表示したりすることができます。

Cisco Businessダッシュボードプローブのインスタンスがネットワーク内の各サイトに1つずつインストールされ、*Dashboard* と関連付けられます。*Probe* はネットワーク検出を実行し、*Dashboard* に代わって各管理対象デバイスと直接通信します。

特定のネットワークデバイスのサポートは、*Dashboard* と直接関連付けられおり、プローブを介さずに管理されます。この方法でネットワークデバイスが管理されている場合、デバイ

スに対してすべての管理機能を使用できますが、ネットワーク検出プロセスは、プローブを介在させる場合と比較して検索範囲が狭くなることがあります。

対象読者

このガイドは主に Cisco Business ダッシュボード ソフトウェアのインストールと管理を担当するネットワーク管理者を対象としています。

関連資料

Cisco Business ダッシュボード のドキュメントは、多数の個別のガイドで構成されています。それは次のようなものです。

• 設置ガイド

次の表に、異なるプラットフォームに展開できるダッシュボードソフトウェアのすべてのインストールガイドを示します。詳細については、場所列に記載されているパスを参照してください。

対応プラットフォーム	所在地
Amazon Web Services	本書
Oracle VirtualBox	Cisco Business Dashboard & Probe インストールガイド (Oracle VirtualBox 用)
Microsoft Hyper-V	Cisco Business Dashboard & Probe インストールガイド (Microsoft Hyper-V 用)
VMWare vSphere、ワークステーション、およびフュージョン	Cisco Business Dashboard & Probe インストールガイド (VMWare 用)
Ubuntu Linux (Dashboard & Probe) および Raspbian Linux (Probe のみ)	Cisco Business Dashboard & Probe インストールガイド (Linux 用)

- **クイックスタートガイド**：最も一般的に選択されるオプションを使用した Cisco Business ダッシュボードの初期セットアップ方法について詳しく説明します。『[Cisco Business Dashboard クイックスタートガイド](#)』を参照してください。

- **アドミニストレーションガイド**：このソフトウェアが提供するすべての機能とオプションに関する詳細およびそれらの設定方法と使用方法に関するリファレンスガイドです。『Cisco Business Dashboard アドミニストレーションガイド』を参照してください。
- **デバイスサポートリスト**：このリストには、Cisco Businessダッシュボードにサポートされるデバイスの詳細と、各デバイスタイプで利用可能な機能が記載されています。Cisco Businessダッシュボードにサポートされるすべてのデバイスのリストについては、『Cisco Business Dashboard：デバイスサポートリスト』を参照してください。

用語

用語	説明
Hyper-V	Microsoft Corporation によって提供されている仮想化プラットフォーム。
Open Virtualization Format (OVF)	1 つ以上の仮想マシンが OVF 形式で格納された TAR アーカイブ。仮想マシン (VM) をパッケージ化および配布するための、プラットフォームに依存しない手段です。
Open Virtual Appliance/Application (OVA) ファイル	次のファイルを含むパッケージは、仮想マシンの説明に使用され、.TAR 形式のパッケージングにより 1 つのアーカイブに保存されます。 <ul style="list-style-type: none"> • 記述子ファイル (.OVF) • Manifest (.MF) および証明書ファイル (任意)
Raspberry Pi	Raspberry Pi 財団によって開発された、極めて低コストのシングルボードコンピュータ。詳細については、 https://www.raspberrypi.org/ を参照してください。
Raspbian	Raspberry Pi 向けに最適化された Debian ベースの Linux ディストリビューション。詳細については、 https://www.raspbian.org/ を参照してください。
VirtualBox	Oracle Corporation によって提供されている仮想化プラットフォーム。
Virtual Hard Disk (VHD)	ハードドライブの完全な内容を格納するためのディスクイメージファイル形式。
仮想マシン (VM)	ゲストオペレーティングシステムと関連するアプリケーションソフトウェアが動作可能な、仮想コンピューティング環境。同一のホストシステム上で同時に複数の VM を実行できます。

用語	説明
<ul style="list-style-type: none"> • VMWare ESXi • VMWare V5 • vSphere Server • VMWare Workstation 	VMWare Inc. によって提供されている仮想化プラットフォーム。
vSphere クライアント	任意の Windows PC から vCenter Server または ESXi に、ユーザがリモート接続できるようにするユーザインターフェイス。vSphere Client のプライマリ インターフェイスを使用して、VM、そのリソース、およびホストの作成、管理、およびモニタを行うことができます。VM へのコンソール アクセスも提供します。

Cisco Business Dashboard のシステム要件

Cisco Businessダッシュボードは、AWS Marketplace (<https://aws.amazon.com/marketplace>) を介して Amazon Web Services (AWS) で使用できます。AWS で Cisco Businessダッシュボードを実行するには、AWS アカウントが必要です。次の AWS インスタンス タイプがサポートされています。

- c5.large : 最大 300 台の管理対象デバイス
- c5.xlarge : 最大 2,500 台の管理対象デバイス

Cisco Businessダッシュボードは Web ユーザ インターフェイスを通じて管理されます。このインターフェイスを使用するには、以下のいずれかのブラウザが必要です。

- Apple Safari (MacOS のみ) : 2 つの最新メジャーバージョン
- Google Chrome : 最新バージョン
- Microsoft Edge : 2 つの最新メジャーバージョン
- Mozilla Firefox : 最新バージョン



(注) Safari を使用している場合は、Cisco Businessダッシュボードプローブからの証明書が [常に信頼] に設定されていることを確認します。そうでないと、セキュア Web ソケットの使用に依存する特定の機能が失敗することが予期されます。これは、Safari Web ブラウザの制限です。

ネットワークで、Cisco Businessダッシュボードプローブのすべてのインスタンスが Cisco Businessダッシュボードとの TCP 接続を確立できる必要があります。使用するポートおよびプ

ロトコルの詳細については、『[Cisco Business Dashboard クイックスタートガイド](#)』の「よく寄せられる質問」を参照してください。



第 2 章

Cisco Business Dashboard のインストール

この章は、次の項で構成されています。

- [AWS への Cisco Business Dashboard のインストール](#) (7 ページ)

AWS への Cisco Business Dashboard のインストール

Cisco Business ダッシュボードは、AWS Marketplace (<https://aws.amazon.com/marketplace>) を介して Amazon Web Services (AWS) で使用できます。AWS Marketplace に移動し、Cisco Business Dashboard を検索して製品の一覧を見つけます。2 つのオプションから選択できます。

- Cisco Business ダッシュボード (従量制)
- Cisco Business ダッシュボード (BYOL)

これらのオプションの主な違いは、デバイスライセンスの取得方法です。従量制課金オプションは使用量に基づくモデルで、管理対象のデバイス数に基づいて、時間単位でデバイスライセンスに課金されます。これらの料金はそのまま毎月の AWS の請求に追加されます。

BYOL オプションの場合のデバイスライセンスは、Dashboard がお客様独自のハードウェアに導入されていた場合とまったく同じ方法で、**Cisco Smart Licensing** を使用して管理されます。デバイスライセンスは、シスコのリセラーを通じて購入できます。



(注) 現時点の従量制課金オプションでは、Kaseya VSA との統合はサポートされていません。Kaseya VSA と統合するには、BYOL オプションを選択する必要があります。

AWS に Cisco Business ダッシュボードを導入するには、AWS アカウントが必要です。AWS の開始方法については、<https://aws.amazon.com/getting-started/> を参照してください。

AWS に Cisco Business ダッシュボードを導入するには、次の手順を実行します。

1. AWS アカウントにログインし、AWS Marketplace (<https://aws.amazon.com/marketplace>) に移動します。

2. 検索ボックスで Cisco Business ダッシュボードを検索します。希望するライセンスモデルに対応するリストを選択します。

従量制課金オプションを使用すると、リアルタイムの使用状況に基づいてデバイスライセンスに課金され、それらの料金は毎月の AWS 請求に追加されます。現在の従量制課金モデルでは、Kaseya VSA との統合はサポートされていません。

BYOL オプションを使用する場合は、Cisco Smart Licensing が動作している必要があります。BYOL オプションは、Cisco Business ダッシュボードの他の導入モデルと機能的に同一です。

[引き続き登録する (Continue to Subscribe)] をクリックして登録します。

3. [引き続き設定する (Continue To Configuration)] をクリックして、インスタンスを設定します。希望するソフトウェアバージョンと、インスタンスを導入するリージョンを選択します。一般的に、管理対象のネットワークの近くにあるリージョンを選択することをお勧めします。
4. [引き続き起動する (Continue to Launch)] をクリックします。選択した製品オプションに応じて、AWS Marketplace からインスタンスを直接起動できます (Web サイトから起動)。または、EC2 コンソールから起動することもできます (EC2 から起動)。いずれの方法でも、インスタンスを設定するために特定のパラメータを指定する必要があります。

- インスタンスタイプは、管理する予定のネットワーク デバイスの数に基づいて選択する必要があります。
- VPC とサブネットの設定を選択して、管理対象のすべての Probe が Dashboard に到達可能であること、および Dashboard にアクセスする必要のあるすべてのユーザが Web UI にアクセスできることを確認する必要があります。
- セキュリティグループを選択して、Cisco Business Dashboard に必要なプロトコルとサービスを許可します。詳細については、『Cisco Business Dashboard クイックスタートガイド』の「よく寄せられる質問」を参照してください。また、販売業者の設定に基づいてセキュリティグループを作成することもできます。これらの設定により、Dashboard に必要な最小限のプロトコルだけで Dashboard へのアクセスが可能になりますが、任意の IP アドレスからアクセスできてしまいます。
- キーペアを選択するか作成して、Cisco Business ダッシュボードのオペレーティングシステムにアクセスできるようにします。キーペアを作成すると AWS からは取得できなくなるため、キーペアを安全な場所に保管してください。割り当てられたキーペアがなければ、Cisco Business ダッシュボードのオペレーティングシステムにアクセスできなくなります。

5. インスタンスを起動します。EC2 コンソールでインスタンスを管理できます。

インスタンスが起動すると、Cisco Business ダッシュボード アプリケーションが自動的に起動されます。アプリケーションの利用方法および初期設定方法の詳細については、『Cisco Business Dashboard クイックスタートガイド』を参照してください。